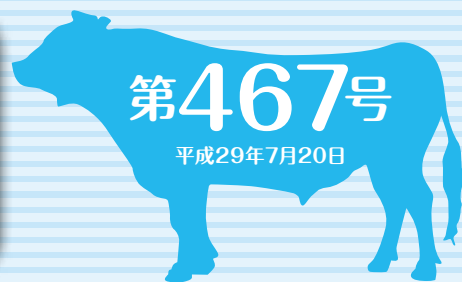


畜産茨城

第467号

平成29年7月20日



目次

平成28年度 茨城県畜産大賞表彰式	1	茨城の逸品新シリーズ	6
家畜共済制度の改正について	2	配合飼料価格差補てん事業の概況について	8
「牛乳の日」で橋本昌知事へ表敬訪問	3	平成29年5月市況	10
繁殖和牛経営における飼料用米		肉用子牛生産者補給金・肉用牛繁殖経営支援事業発動状況	10
ソフトグレインサイレージ(SGS)調製及び給与技術の確立	4	平成29年6月市況	11
薬剤耐性(AMR)対策の推進と抗菌剤の慎重使用について	5	新マルキン発動状況	11
地方競馬 場外発売日程	5	受精卵供給センターのご紹介	12

発行所／茨城県水戸市梅香1丁目2番56号
公益社団法人 茨城県畜産協会
電話 029 (231) 7501
URL <http://ibaraki.lin.gr.jp>
発行人／佐 野 治

平成28年度 茨城県畜産大賞表彰式



平成29年6月12日(月)茨城県JA会館において平成28年度茨城県畜産大賞表彰式を開催し、最優秀賞に(有)ファームオアシス(筑西市)、優秀賞に宮本守正氏(つくば市)、七会村小勝和牛改良組合(城里町)の方々が受賞されました。

この賞は当協会が、平成16年度より本県畜産の名声を高め、畜産技術の向上と将来の経営に希望を与える等の著しい功績があった方々を表彰しているものです。

地方競馬の収益金は畜産の振興に役立っています

－受賞者の概要－

☆最優秀賞

有限会社ファームオアシス

同社は平成18年に設立した当初から、稲WCSや牛の放牧技術の導入を積極的に進め、堆肥の有効活用による耕畜連携の推進や、地域で課題となっていた休耕地の再生に寄与した。また、自社農場で生産しているジャージー牛の生乳や、イチゴ、米粉などの材料を使用した洋菓子販売に取り組むとともに、地域住民との交流を通じて、農業の豊かさや魅力を発信するなど、地域の振興に、多大なる貢献をしている。

☆優秀賞

宮本 守正 様

JAつくば市谷田部肉牛部会長として11年間にわたり、部会員に対しての指導や相談相手となりながら、品質向上に熱心に取り組み、常陸牛のブランド力向上や生産拡大に大きく寄与し

た。また、その高い肥育技術により多数の枝肉共励会において名誉賞を受賞され、肥育技術向上において牽引役の役割を果たしている。さらに資源循環型農業を自らも実践し、部会のみならず地域の耕畜連携の模範として貢献している。

七会村小勝和牛改良組合 様

同組合は、昭和56年に旧七会村内の和牛繁殖農家5名で設立し、和牛改良の研究を行うとともに、昭和60年に開場した城里町内の小勝共同放牧場において、毎年約60頭の繁殖雌牛の放牧を行い、設立以来、約3,000頭の健康な和牛子牛を県内に供給し、常陸牛の素となる和牛子牛の生産拡大及びブランド力の向上に大きく寄与している。

家畜共済制度の改正について

茨城県農業共済組合連合会

農業共済制度は、昭和22年12月に農業災害補償法が公布され、今年で70周年を迎えます。その間幾多の制度改正が行われ、農家経営の安定に寄与してまいりました。今回の家畜共済に関する制度改正については、平成31年1月1日以後に共済責任期間が開始されるものから適用される予定です。その主な内容をご紹介します。

(1) 死廃事故と病傷事故の取扱い

現在、死廃事故（家畜が死亡、廃用となった場合に家畜1頭ごとの評価額に補償割合を乗じて共済金を支払う）と病傷事故（家畜が疾病、傷害を負った場合に獣医師に支払う診療費を補填）を一体的に補償する仕組みとなっています。

現行制度でも病傷事故を補償対象から除く加入方式もありますが、補償割合の各々異なった設定をすることができません。そこで死廃事故

と病傷事故を分離して一方のみの加入を可能とするとともに、農家経営のニーズにあった別々の補償割合を選択できるようにします。

(2) 死廃事故における家畜の評価額

家畜には肥育牛のように成長に伴い日々価額（資産価値）が増加するものと、搾乳牛や繁殖牛のように期間が経過するにつれ価額（資産価値）が減少するものがあります。

現行の評価額（補償金額）は、共済責任開始日の評価額（月齢別価額）で設定され1年間同額の補償金額となっております。このため肥育牛のように日々価額（資産価値）が増加するものでも共済責任開始日から死亡時までには価額が増加しても、その増加分が補償されません。このことから肥育牛等の死亡事故における補償金額については、事故発生時の価額（資産価値）で補償するようにします。

「牛乳の日」で橋本昌知事へ表敬訪問

茨城県牛乳普及協会 事務局長 市村 章

6月1日の「牛乳の日」にちなみ、茨城県牛乳普及協会大槻和夫会長は、県内乳業4メーカーの各社長により各社の牛乳を持参し、同組織役員と共に県庁へ橋本昌知事（他・県議会議長・県農林水産部長・県教育長）を表敬訪問しました。



「牛乳の日」「牛乳月間」は、2001年に国際連合食糧農業機関（FAO）が6月1日をWORLD MILK DAY（世界牛乳の日）と提唱したことを受けて2008年に日本でも（一社）Jミルクが6月1日を「牛乳の日」6月を「牛乳月間」と定め、酪農乳業一体となって、牛乳をより親しんでいただくための行事を計画し、牛乳の消費拡大に取り組んでおります。

それは、長く厳しい冬を牛舎で過ごした牛たちが野に放たれ、新しい草を思う存分はぐくむ放牧が始まり、春を迎える喜びを、牛たちに感謝するお祭りやお祝いとして世界各地で関連イベントが行われております。

そうなんです。長かった冬が過ぎ春を迎える喜びと牛たちが思う存分草をはぐ。そして牛に感謝する世界的な行事なのです。

本県で行う茨城県牛乳普及協会が中心となり進める「牛乳の日」「牛乳月間」への取り組みは、次のとおりであります。

6月1日の「牛乳の日」での茨城県牛乳普及協会による橋本昌知事へ表敬訪問は、平成21年から毎年行っており、今年で9回目となりました。

持参した県産メロンをその場で調理し、橋本知事にゴクリと飲んでいただき、大変おいしいと大好評でありました。

又、今年の「牛乳月間」は、従来からの・県庁生協・水戸京成ホテルでの県産牛乳を使った

ランチの提供の他、県の関連宿泊施設5カ所において県の声かけもあって県産牛乳を使った料理の提供もありました。（・オーシャンビュー大洗・鶴の岬・鵜松亭・いこいの村潤沼・ホテルレイクビュー水戸）

尚、今年は関東生乳販連ラジオオリジナル番組放送として、6月1日「石川實DAILY LIFE（TBS）」において牛乳月間のイベント紹介：水戸駅前の街頭活動の様子、ミルスタの紹介が放送され、又この日は朝8時からのも・うちわ・チラシの配布やミルスタでのキャンペーンを行いました。

前回「畜産茨城」第465号に「牛乳・乳製品の「価値」へのアピール」としての記載のとおり、牛乳乳製品の消費はテレビ等の効果が大きくその後も、6月3日放送のジョブチェーン「レモンラッシー」（TBS）：レモンがカルシウムの吸収率をアップ。7月8日チーズでダイエット法（テレビ東京）等の放送もありました。

又、その中で特にヨーグルトへの支出が前年比11.2%と報告をしました。主要都市別購入額で水戸市は平成12、13年と1位にあり、その後も5位、4位と上位に定着しております。

茨城県牛乳普及協会は改めて「牛乳の日」「牛乳月間」を通して、牛乳の効能等、県民の健康増進に寄与すべく、各々の事業展開からも更なる牛乳乳製品の消費拡大に努めてまいります。

繁殖和牛経営における飼料用米ソフトグレインサイレージ (SGS) 調製及び給与技術の確立

茨城県農業総合センター 専門技術指導員 津田 和之

1 飼料用米ソフトグレインサイレージ (SGS) とは？

コンバインで収穫した飼料用米 (生モミ米) を乾燥せずに、そのまま粉碎処理し、密封してサイレージ化 (乳酸発酵) したもので、常温で長期保存ができます。

2 技術体系化チームの取り組み

平成26年度から3年間、茨城県農業総合センターが中心となり、研究機関、普及指導機関などで構成する「技術体系化チーム」において、飼料用米SGS (以下SGS) の調製技術と繁殖和牛へのSGS給与について、現地での実証・検討を行いました。

今回は取り組みの成果を紹介します。

3 活動の成果

(1) SGS 調製方法について

①飼料用米は収穫後乾燥せずにそのまま調製できます。ただしモミのまま一次保管し、後日SGSに調製する場合は、水分15%くらいに乾燥しておきます。

②飼料用米 (モミ米) は破砕機を用いて2mm程度に細かく破砕します。



③漬物樽 (60L) 内にビニール袋を敷いて、破砕した籾米約30kgを詰め込みます。

④加水処理では原料のモミ水分を穀粒水分計で測り、サイレージ調製後の水分が30%程度となる水分量を算出してジョウロで加水します。あわせて乳酸菌も添加します。(ここでは破砕と加水をまとめて行いました。)



⑤密封はできるだけ内部に空気が残らないように原料を詰め込み、内袋がある場合には掃除機で脱気するか、脱酸素剤、エタノール蒸散剤 (抗カビ剤) を入れて密封します。

(袋の中に脱酸素剤、エタノール蒸散剤を入れる。)



⑥発酵期間は10月までに調製した場合、約1カ月、11月以降の場合、約2カ月を目安とします。特に平均気温が0℃くらいの厳寒期には発酵期間が延びます。

(2) 繁殖和牛へのSGS給与

開封した時に甘酸っぱい発酵臭がしたなら問題はありません。カビが生えていた場合、部分的な場合は取り除きます。内部にもカビが生える場合もありますので注意します。カビが生えたSGSは給与しないようにします。

(部分的に生えたカビ)



初めて繁殖和牛にSGSを給与する時には、1～2週間程度馴らし期間を設けて、嗜好性を確認しながら、徐々に給与量を増やします。実証では、濃厚飼料のうち30%程度までSGSで代替えしても残飼はなく嗜好性も良い結果でした。

4 今後の方向

今年度大子町に整備予定のキャトルブリーディングステーション内にSGS調製施設を設置し、通年で給与出来る体制とします。

畜産農家の皆様へ

薬剤耐性（AMR）対策の推進と抗菌剤の慎重使用について

JA 全農畜産生産部

薬剤耐性問題への取組み

抗菌剤は、人の医療だけでなく動物分野でも、家畜・家きんの健康を守り、安全な畜産物の安定生産を確保するうえで必要なものです。しかし近年、特に人の医療分野において、薬剤耐性（Antimicrobial Resistance：AMR）の菌による感染症が増加しており、世界的に懸念されています。

この薬剤耐性問題に対処するため、2015年5月WHOがグローバルアクションプランを採択、G7サミットでも採り上げられ、我が国でも2016年4月にアクションプラン（①普及啓発・

教育 ②動向調査・モニタリング ③感染予防・管理 ④適正使用 ⑤研究開発・創薬 ⑥国際協力）がまとめられました。

また、これまで食品安全委員会、厚労省および農水省がそれぞれ対策を行ってきましたが、新たに内閣官房を中心に関係省庁が協力して実行する体制へと変わり、2016年11月をスタートに、同月を推進月間とするなど国をあげて普及啓発の取組みがより積極的に進められています。

本会も業界団体の一つとしてこの普及啓発活動の賛同団体となっています。

畜産分野での主な取組み（農水省リーフレットより引用）

畜産関係者が実施すべき対策は？

生産者や獣医師をはじめとする畜産関係者には、薬剤耐性問題を理解し、「抗菌剤の慎重使用」を徹底すること等が求められています。具体的には

- ① 飼養衛生管理の徹底やワクチンの使用により感染症を減らすことにより、抗菌剤の使用機会を減らすこと
- ② 抗菌剤の使用を真に必要な場合に限定することが対策の基本となります。

農場の皆様におかれては

抗菌剤の投与は、いざ家畜・家きんの病気が発生したときの治療として必要であり、安定生産に重要な役割を果たしています。一方で、薬

剤耐性菌を生じさせないことは、必要時の抗菌剤投与の有効性を保ち、その農場の家畜を守ることにもつながります。

☆抗菌剤の慎重使用をするためには、何よりも、病気になりにくく、抗菌剤をなるべく使わずに済むような飼育環境にすることが大切です。飼養衛生管理の徹底をお願いします。

☆また、日頃から農場にどのような菌が存在するか、どのような薬剤が有効か、JAクリニック検査などで定期的に調べておいて、必要時に活かせるように管理獣医師と情報を共有しておくこともお勧めします。

地方競馬 場外発売日程

「オフトひたちなか」TEL：029-265-5800

※発売日程は、変更になることがあります。

2017年8月

日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
曜 日	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
オフトひたちなか		川 崎					船 橋					大 井				浦 和						川 崎							大 井		

○黒潮盃

○スパーキングサマーカップ

○アフター5スター賞

2017年9月

日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
曜日	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
オフトひたちなか	船橋			船橋			川崎				大井								浦和							船橋				

○戸塚記念

○東京記念

○テレ玉杯オーバルスプリント

○日本テレビ盃

茨城の逸品

新シリーズ



茨城県銘柄豚振興会

茨城県銘柄豚振興会は全農茨城県本部と共同でローズポークの加工品である茨城の逸品新シリーズを開発しました。「温めるだけで簡単調理！ローズポークを手軽に楽しもう！」をコンセプトにした商品でプラスチックに密封し加圧加熱殺菌することで長期保存を可能にし、常温での流通を可能にしています。レンジまたは湯煎で温めるだけで調理ができます。既存で角煮・アヒージョ、しょうが煮を取り揃えていましたが、ラインナップを増やすため新たにトマトソース煮、塩バジル、みそ煮の3商品追加し全部で6種類になりました。トマトソース煮は完熟トマトをたっぷり使用したソースで煮込みました。トマトの酸味とローズポークの甘味の相性が絶妙です。塩バジルは塩バジルソースで煮込みさわやかなバジルの香りと塩ダレが食欲をそそります。味噌煮はウデ肉を使用しコクを引き出せるように工夫しました。日本人が大好きな味付けです。取扱いにはギフトセット、J Aタウン、ポットファームときどき販売予定となっております。ギフトセットは既存の角煮・アヒージョ、しょうが煮と合わせた6個入りセット(3,500円・税抜)、またトマトソース煮・塩バジル・アヒージョの3つをそれぞれ1つずつ組み合わせた洋風セット(1,900円・税抜)、角煮・味噌煮・しょうが煮の3つをそれぞれ1つずつ組み合わせた和風セット(1,800円・税抜)をご用意しております。



茨城の逸品ギフトセット

お世話になった方への贈り物としてはもちろん
ご家庭用としてのお酒のおつまみや忙しい時の
もう一品としても好評です。



茨城の逸品 6個セット 3,500円(税別)

- ローズポークの角煮
- ローズポークのアヒージョ
- ローズポークのしょうが煮
- ローズポークのトマトソース煮
- 塩バジルローズポーク
- ローズポークの味噌煮



茨城の逸品 洋風セット(3個入) 1,900円(税別)

- ローズポークのトマトソース煮
- 塩バジルローズポーク
- ローズポークのアヒージョ



茨城の逸品 和風セット(3個入) 1,800円(税別)

- ローズポークの角煮
- ローズポークのしょうが煮
- ローズポークの味噌煮

※上記の価格は全農希望小売価格です。※掲載の写真はすべてイメージです。

銘柄ポーク好意度コンテスト
グランドチャンピオン大会

ローズポーク

第3位

ローズポークは茨城が誇る銘柄豚です。育てる人、育てる豚を指定し、茨城県内で生産される豚のなかでも厳しい条件を満たした豚だけに与えられるブランドです。肉質は弾力があり、きめ細かく柔らかいのが特徴で、茨城県の県花「バラ」にちなんで名付けられました。

レンジで簡単! 簡単! 楽チン! お手軽おいしい。

フィルムを剥いて

パカッ
と剥いて

電子レンジ

ラクラク
ヒンして

カップでそのまま

アツアツ
でおいしい

加熱方法 ※加熱時間は目安です。

電子レンジ 500W 1分00秒
(電子レンジで調理の際はフィルムをはがして加熱してください)

熱 湯 6分

【ご注意】 ●加熱直後は熱いので、やけどにご注意ください。 ●開封時に中身が漏れる場合がございますのでご注意ください。 ●そのままでもお召し上がりいただけます。 ●表面に白い膜や油点がありましても、加熱分ですから安心して召し上がりください。 ●賞味期限は未開封で保存した場合の期限です。開封後は賞味期限に関わらず、お早めにお召し上がりください。 ●容器のふち等で手を傷つけないようご注意ください。 ●「自動(オート)ボタン」は使用しないでください。 ●オーブントースターでは調理できません。湯せんの場合は熱湯の時にフィルムをはがさず、フィルム面を上にして蓋のふたをせずに加熱してください。

商品のお問合せ

全農茨城県本部 ☎0120-201-292

茨城県東茨城郡茨城町下土師字高山1950-1
●受付は、土・日・祝日を除く 9:00~17:00

問い合わせ先
全農茨城県本部畜産部畜産直販課
Tel 029-292-6906

配合飼料価格差補てん事業の概況について

一般社団法人 茨城県配合飼料価格安定基金協会

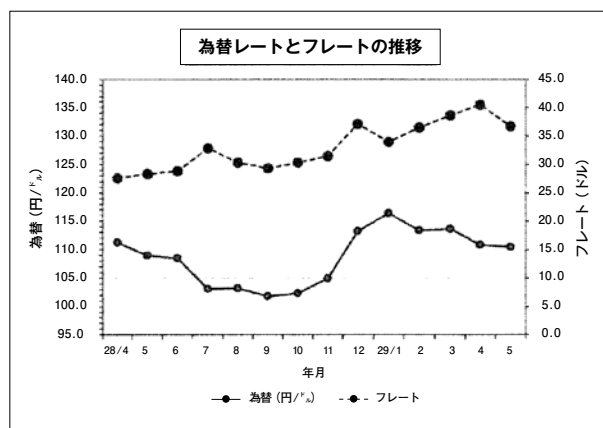
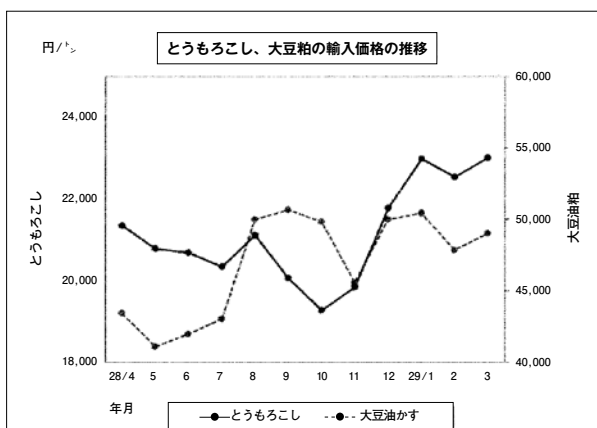
I 価格差補てんの状況

区 分		28第1四半期 (4～6月)	28第2四半期 (7～9月)	28第3四半期 (10～12月)	28第4四半期 (1～3月)	29第1四半期 (4～6月)
補てん金の額 (円／トン)	通常補てん金	0	0	0	950	－
	異常補てん金	0	0	0	0	－
	計	0	0	0	950	－
原料価格 (円／トン)	基準輸入原料価格	31,440	29,704	28,149	26,439	25,955
	平均輸入原料価格	26,303	25,072	26,035	27,413	(27,686)
	価格差	▲5,137	▲4,632	▲2,114	974	(1,731)

- ※ 1. 通常補てん金＝基準輸入原料価格－平均輸入原料価格
異常補てん金＝基準輸入原料価格－平均輸入原料価格×1.15
2. 基準輸入原料価格…直近1年間の輸入原料価格の平均
平均輸入原料価格…当該四半期の輸入原料価格の平均
3. H29年第1四半期の平均輸入原料価格は、6月分未確定のため5月分と同量として試算

- (1) 28年度は、第4四半期(H29.1～3)に、補てん金950円/トンを交付。
(2) H29年第1四半期(H29.4～6)は、補てん発動の可能性が大きい。(6月末現在未確定)

- ①とうもろこしの国内着価格(CIF価格)は、H28年11月からシカゴ相場の上昇及び円安等の影響により大幅に上昇。2月に若干下がったものの3月に再び上昇。今後は天候、相場により目まぐるしく変化する可能性がある。
- ②為替レートは、H28年末から円安に進行したが、2月以降再び円高に転ずるなど目まぐるしい動き。(直近113円前後)
- ③海上運賃は原油価格の上昇及び船舶需要の高まり等から上昇傾向で推移。しかし、5月に入り低下傾向で推移。(直近37ドル台)



資料提供：(一社)全日本配合飼料価格畜産安定基金

Ⅱ 平成 29 年度 全日基における契約状況について

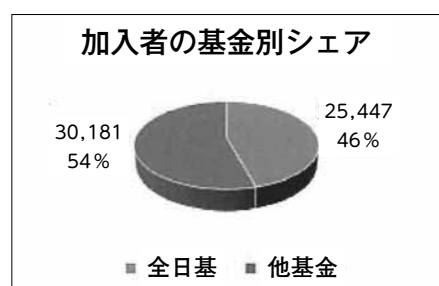
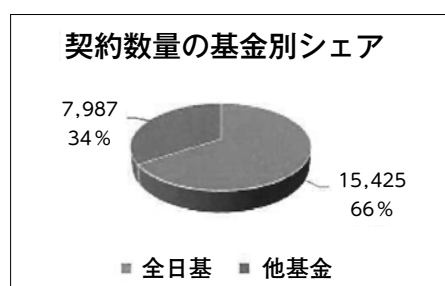
- (1) 加入者は年々減少しており、H29年度においても2.7%(△688件)の減少となっている。一方、H29年度(当初)の契約数量は、約1,540万トン強で微増(0.1%増)でした。
- (2) 基金別シェアは、前年と大きく変わることはなかった。(商系基金:66%他基金:34%)
商系基金が契約数量をわずかに伸ばしている(2万トン)一方で、他基金は減少。

平成29年度 基金別契約状況等(当初)

(単位:千トン, 件, %)

項 目	全 日 基	他 基 金	合 計
29年度当初数量(千トン)	15,425	7,987	23,412
基金間構成比(%)	65.9	34.1	100.0
前年増減率(%)	0.1	▲0.0	0.1
増減量(千トン)	20	▲2	18

29年度契約件数	25,069	30,181	55,250
基金間構成比(%)	45.4	54.6	100.0
加入者減少率(%)	▲2.7	▲2.5	▲2.6
加入者減少数	▲688	▲772	▲1,460



資料提供: (一社) 全日本配合飼料価格畜産安定基金

Ⅲ 茨城県配合飼料価格安定基金協会に係る平成 29 年度の契約状況

- (1) 加入畜産経営者の契約件数は836件で、前年度より40件の減となりました。

表 1 加入畜産経営者の契約件数

区 分	乳用牛	肉用牛	豚	採卵鶏	肉用鶏	うずら等	計
29年度							
加入者(人)	295	195	244	78	21	3	836
構成比(%)	35.3	23.3	29.2	9.3	2.5	0.4	100.0
前年度(%)	96.4	96.1	93.1	96.3	100.0	100.0	95.4
28年度加入者(人)	306	203	262	81	21	3	876
増 減	- 11	- 8	- 18	- 3	0	0	- 40

- (2) 年度当初の年間契約数量は765,789トン(前年度より31,090トン減)でした。畜種別の契約数量は、採卵鶏311,630トン、豚261,702トンの2畜種で全体の74.8%を占めていました。

表 2 年間契約数量

区 分	乳用牛	肉用牛	豚	採卵鶏	肉用鶏	うずら等	計
29年度							
契約数量(t)	68,013	88,186	261,702	311,630	35,662	596	765,789
構成比(%)	8.9	11.5	34.1	40.7	4.7	0.1	100.0
前年比(%)	103.8	97.1	96.3	94.0	97.5	100.0	96.1
28年度契約数量(t)	65,520	90,852	271,897	331,437	36,577	596	796,879
増 減(t)	2,493	- 2,666	- 10,195	- 19,807	- 915	0	- 31,090

平成29年5月市況

子豚市場

全農茨城県本部 子豚市場

開催日	区分	頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)	平均体重(kg)
2	一般子豚 ベビー豚	0 241	24,192	15,984	21,659	35
17	一般子豚 ベビー豚	0 297	25,272	15,336	22,883	35
31	一般子豚 ベビー豚	33 316	22,896 22,356	17,712 9,936	21,423 19,463	50 35

牛市場

全農茨城県本部 家畜市場

開催日	畜種	性別	頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)	平均体重 (kg)	kg当たり 単価(円)
14	和牛	♀	68	938,520	386,640	632,372	279	2,270
		♂	0					
		去計	89	1,157,760	398,520	875,674	314	2,787
		経産	157	1,157,760	386,640	770,295	299	2,578
	F1		2	422,280	272,160	347,220		
		♀	13	390,960	351,000	378,831	301	1,257
		去計	21	517,320	433,080	468,926	315	1,487
			34	517,320	351,000	434,478	310	1,402

種豚オークション

全農茨城県本部 子豚市場

開催日	区分	L		W		D		LW	WL
		♀	♂	♀	♂	♀	♂	♀	♂
12	入場頭数	6	0	0	3	0	17	11	0
	成立頭数	6			1		13	11	
	最高(円)	78,840			90,720		132,840	73,440	
	最低(円)	70,200			90,720		46,440	54,000	
	平均(円)	74,880			90,720		86,982	65,880	

食肉地方卸売市場

茨城県中央食肉公社

開催日	豚枝肉：日曜、祭日を除く毎日 牛枝肉：毎週月曜日、木曜日									
項目	上場頭数		卸売価格(枝肉1kg当たり単価・円)							屠畜頭数
	頭数	平均重量(kg)	極上	上	中	並	外	平均	豚	牛
豚	13,305.0	78.7	565	564	547	512	429	528	26,462	839.5
牛	頭数	平均重量(kg)	5	4	3	2	1	平均単価(円)		
和牛	A 166	193	472.8	2,735	2,484	2,317	1,347	—	2,457	
	B 20			2,589	2,357	—	941	567		
	C 7			—	—	—	675	486		
乳牛	A —	126	312.2	—	—	—	—	—	532	
	B 5			—	—	1,023	626	—		
	C 121			—	—	—	590	482		
交雑牛	A 17	89	509.2	1,944	1,656	1,626	—	—	1,503	
	B 64			1,815	1,691	1,481	1,232	—		
	C 8			—	—	1,397	1,185	—		

大子町畜産農業協同組合 大子家畜市場

開催日	畜種	性別	頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)	平均体重(kg)	kg当たり単価(円)
16	和牛	♀	44	854,280	432,000	658,530	266	2,479
		♂	0					
		去計	57	1,188,000	627,480	855,549	297	2,871
			101	1,188,000	432,000	769,719	283	2,711

茨城県家畜商業協同組合 茨城県中央家畜市場

開催日			5, 9, 15, 19, 25, 29			
畜種	年齢	性別	頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)
乳牛	スモール	♀	3	43,200	4,320	25,200
		♂	79	196,560	4,320	141,453
		去計	0			
F1	スモール	♀	83	297,000	153,360	251,224
		♂	81	410,400	103,680	341,173
		去計	0			
	子牛	♀	164	410,400	103,680	295,650
		去計	2	280,800	265,680	273,240
黒毛和種	スモール	♀	0			
		♂	1	559,440	559,440	559,440
		去計	0			
	子牛	♀	1	559,440	559,440	559,440
		♂	0			
		去計	2	597,240	540,000	568,620
	1歳	♀	0			
		♂	2	597,240	540,000	568,620
		去計	1	1,004,400	1,004,400	1,004,400
	3歳以上	♀	0			
		♂	1	1,004,400	1,004,400	1,004,400
		去計	8	599,400	211,680	332,100
			8	599,400	211,680	332,100

肉用子牛生産者補給金・肉用牛繁殖経営支援事業発動状況

平成29年度第1四半期(平成29年4～6月)

○肉用子牛生産者補給金制度

(単位：円／頭)

○肉用牛繁殖経営支援事業

(単位：円／頭)

区分	黒毛和種	褐毛和種	その他の肉専用種	乳用種	交雑種
保証基準価格	339,000	309,000	221,000	136,000	210,000
合理化目標価格	282,000	259,000	150,000	93,000	152,000
平均売買価格	809,400	724,200	356,900	214,300	396,700
補給金単価	—	—	—	—	—

区分	黒毛和種	褐毛和種	その他の肉専用種
保証基準価格	339,000	309,000	221,000
平均売買価格	809,400	724,200	356,900
発動基準	460,000	420,000	300,000
支援交付金単価	—	—	—

平成29年6月市況

子豚市場

全農茨城県本部 子豚市場

開催日	区 分	頭 数	最高(円)	最低(円)	平均(円)	平均体重(kg)
14	一般子豚	51	21,924	17,928	20,295	50
	ベビー豚	285	22,248	5,400	19,451	35
28	一般子豚	12	19,980	19,980	19,980	50
	ベビー豚	299	22,788	10,692	18,884	35

種豚オークション

全農茨城県本部 子豚市場

開催日	区分	L		W		D		LW	WL
		♀	♂	♀	♂	♀	♂	♀	♀
	入場頭数 成立頭数 最高(円) 最低(円) 平均(円)	開催なし							

食肉地方卸売市場

株茨城県中央食肉公社

開催日	豚枝肉：日曜、祭日を除く毎日					牛枝肉：毎週月曜日、木曜日				
項目	上場頭数		卸売価格(枝肉1kg当たり単価・円)					屠畜頭数		
畜種	頭数	平均重量(kg)	極上	上	中	並	外	平均	豚	牛
豚	12,412.0	78.4	664	648	628	593	473	602	24,451	632.5
牛	頭数	平均重量(kg)	5	4	3	2	1	平均単価(円)		
和牛	A 203	229	483.2	2,785	2,489	2,207	1,639	—	2,536	
	B 23			2,587	2,266	1,804	907	723		
	C 3			—	—	—	731	673		
乳牛	A —	165	314.4	—	—	—	—	—	538	
	B 7			—	—	737	671	629		
	C 158			—	—	—	620	468		
交雑牛	A 20	133	511.3	2,032	1,839	1,558	1,318	—	1,487	
	B 101			—	1,761	1,525	1,196	—		
	C 12			—	—	1,377	919	432		

牛市場

全農茨城県本部 家畜市場

開催日	畜種	性別	頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)	平均体重(kg)	kg当たり単価(円)
14	和牛	♀	53	907,200	537,840	731,262	288	2,535
		♂	0					
		去計	71	1,105,920	635,040	895,153	325	2,754
		計	124	1,105,920	537,840	825,103	309	2,667
	F1	経産	3	334,800	212,760	262,080	—	—
		♀	11	407,160	346,680	379,178	299	1,269
		去計	24	467,640	400,680	449,685	323	1,390
		計	35	467,640	346,680	427,526	316	1,354

大子町畜産農業協同組合 大子家畜市場

開催日	畜種	性別	頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)	平均体重(kg)	kg当たり単価(円)
	和牛	♀ ♂ 去計	開催なし					

茨城県家畜産業協同組合 茨城県中央家畜市場

開催日			5, 9, 15, 19, 25, 29			
畜種	年齢	性別	頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)
乳牛	スモール	♀	2	79,920	74,520	77,220
		♂	84	214,920	1,080	135,489
		去計	86	214,920	1,080	134,133
	子牛	♀	1	292,680	292,680	292,680
		♂	5	138,240	30,240	102,168
		去計	6	292,680	30,240	133,920
F1	2歳	♀	1	226,800	226,800	226,800
		♂	0			
		去計	1	226,800	226,800	226,800
	スモール	♀	62	313,200	1,080	263,572
		♂	81	421,200	201,960	337,053
		去計	143	421,200	1,080	305,194
黒毛和種	子牛	♀	0			
		♂	0			
		去計	15	501,120	464,400	480,456
	3歳以上	♀	15	501,120	464,400	480,456
		♂	1	486,000	486,000	486,000
		去計	4	518,400	410,400	459,540
		去計	2	756,000	656,640	706,320
		計	7	756,000	410,400	533,829
		去計	8	357,480	227,880	289,980
		計	0			0
		計	8	357,480	227,880	289,980

新マルキン発動状況

期	支払方式	肉専用種	交雑種	乳用種
平成29年5月	概算払単価	—	44,800	36,500
平成29年4月	概算払単価	—	7,200	51,700

(注)

平成26年4月期の補填金交付から、四半期の最終月以外については、補填金を概算払いし、各四半期の最終月に確定単価で精算払いをすることになりました。(配合飼料価格安定制度の見直しによる生産費用算出の関係によるもの。)

また、平成26年4月から消費税抜きで算定されています。

○茨城県において補填金交付額に見合う財源を確保できない場合、補填金単価を減額することがあります。

◎算定基礎の詳しい情報は、(独)農畜産業振興機構HP (<http://www.alic.go.jp>) をご覧ください。

受精卵供給センターのご紹介

茨城県畜産センター

茨城県畜産センターでは、受精卵を活用した和牛子牛の生産を推進するために、今年度の4月に受精卵供給センターを新設しました。

当畜産センター内で飼養する雌牛からの受精卵の採取（採卵）や農家所有の雌牛からの採卵については、これまでも実施していましたが、今年度からは、獣医師を倍增して、新たな体制で取り組んでおりますので、当受精

卵供給センターを積極的にご利用ください。

● 採卵とは

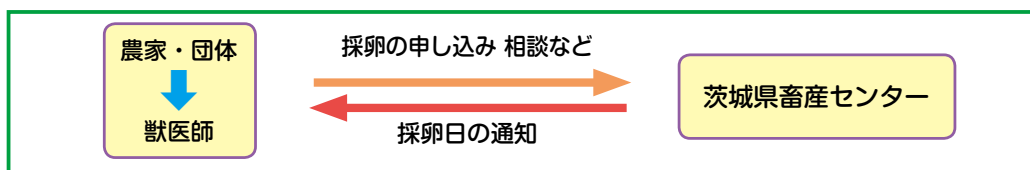
牛は、通常1回の発情で卵子を1個しか排卵しません。そこで、ホルモン処理により卵子をたくさん排卵させ、そこに人工授精することにより、一度に複数の受精卵を得ることができます。



● 採卵のメリット

所有している優良な雌牛からは、できるだけ多くの子牛を望むところですが、通常、年に一頭しか得られません。この受精卵移植技術を用

いれば、一年に何頭もの子牛を得ることが可能になります。また、成績の良い雌牛でも子育てができない場合や受胎はするが妊娠が維持できない場合にも利用できますので、是非、受精卵供給センターにご相談ください。



採卵を希望する方、採卵に興味がある方はこちらまでご連絡ください

【連絡先】

茨城県畜産センター（受精卵供給センター）

〒315-0132 石岡市根小屋1234

TEL (0299) 43-3333

FAX (0299) 43-6392

担当獣医師：太田

山口

根本

岩本

わたしたちは人と動物の「これから」を真剣に考えています

① 森久保薬品株式会社
水戸市笠原町1538-4 TEL/029-241-3131
FAX/029-241-3187
<http://www.morikubo.co.jp> <http://www.haccp.jp>

茨城県銘柄鶏

奥久慈しゃも

奥久慈しゃも生産組合

〒319-3523 茨城県久慈郡大子町袋田3723
TEL / 0295-72-4250
FAX / 0295-72-2944

県内唯一の食肉地方卸売市場

株式会社 茨城県中央食肉公社

代表取締役社長 角田 芳夫

〒311-3155 茨城県東茨城郡茨城町大字下土師字高山1975
TEL / 029 (292) 6811 (代)
FAX / 029 (292) 6895
H P / <http://ibaraki-kousha.co.jp/>

市場開催日 { 豚枝肉 (日曜・祭日等を除く毎日)
牛枝肉 (毎週月・木曜日)

公益社団法人 茨城県畜産協会

TEL / 029 (231) 7501 FAX / 029 (222) 2032

○当協会に対する意見・要望
Eメール info@ibaraki.lin.gr.jp

○本紙への掲載「催事・各種情報」
Eメール chikusan@ibachiku.com

○ホームページ
<http://ibaraki.lin.gr.jp>